



おち あい たか ゆき
落合 孝行 議員

質問

八川の木育施設の利用形態は

町長

子育て世代の土日利用も検討



来年度に木育施設となる八川幼児園

質問 来年度以降に統廃合後の八川幼児園を活用し、木育施設を設置する予定であると認識をしている。現時点では、住民による施設の利用形態は具体的にどのような形を想定しているか。

町長 町民の皆様には、幅広い方々に利用して頂きたい。お

子様連れの家族をメインに、町外の子育て世代の方々の利用も想定。休日の利用はもちろん、世代間交流や木育教室、認定こども園や幼児園でも利用できるようにしたい。運営計画は検討中だが、雨の日や猛暑日でも親子で安心して過ごせる楽しめる施設にしたい。

質問 世界農業遺産の認定によって、今後どのような波及効果や可能性を想定して動いていく予定か。

町長 今回の世界農業遺産の認定により奥出雲町の認知度はさらに高まり、多くの利点と波及効果をもたらすと考える。農業面では農産品のブランド力向上、観

光面では観光客数の増加、商業面では地域経済の活性化、定住面では移住定住の促進、関係人口の増加等につなげていく。

質問 世界農業遺産を活用し、町独自の価値を高めるような商品やサービスの開発を民間事業者が行おうとした際に、町で活用できる補助金

等があるか。ない場合は、新たに創設する考えは。

町長 ブランディングを目的とした商品開発に対する町補助金はない。今後は、世界農業遺産の認定を生かした取組を推進するために、世界農業遺産を活用した特産品の開発やビジネス化に向けた活動、世界農業遺産の普及啓発等の活動について補助金等の支援も必要と考えている。

その他の質問

おくいずも暮らしサポートセンター
特定地域づくり協同組合
老健跡の今後の利用



世界農業遺産の認定を民間事業の追い風に

世界農業遺産の波及効果と今後の動きは